

まちのわだい



春の風物詩

町内小学校入学式

穏やかな晴天の中、町内5つの小学校で4月8日に入学式が行われました。

今年度の新入生は、町全体で88人です。体育館に集まったお兄さんお姉さんや先生、保護者が見守る中、新入生たちは、緊張した面持ちで入学式に臨んでいました。

新入生たちは、先生から名前が読み上げられると、「はい！」と元気いっぱい返事をしていました。



緊張をかみしめながら式に臨む生徒たち(八郷小学校)



校長先生のお話を一生懸命聞いています(同上)

火災予防を啓発

消防団がパレード

伯耆町消防団が、4月5日に火災予防啓発パレードを行いました。

このパレードは、防火意識を啓発するため、農作業が始まるこの時期に毎年実施しています。

パレードには、伯耆町消防団と米子消防署伯耆出張所の消防団員およそ70名が参加し、町内を3グループに分けてパレードしました。

火災は一瞬にして尊い命や貴重な財産を奪います。これから田植えの準備などで火を使うことが多くなる時期です。火の取り扱いには十分注意し、火災の予防に努めましょう。



出発前に団長から訓辞を受ける団員



町内をパレードし防火を呼び掛ける

まちづくりについて語り合う

円陣の会 事例発表交流会

3月22日、日光公民館に、ほうきまちづくり円陣の会のメンバー約50人が集まり、各地域のまちづくりについて事例発表交流会を開催しました。

交流会では、昨年11月に開催された「地域づくり団体全国研修交流会」三重大会参加者からの活動報告をはじめ、日光地区協議会の活動報告、江府町地域おこし協力隊の活動紹介、溝口中学校3年生による「溝口を活性化するためのアイデア」発表が行われました。その後、会場を日光交流センター山隠れの里へ移し、発表を終えた参加者たちが食事をしながら交流を楽しみました。

円陣の会を率いる松原会長は、「今後もこの活動を通して、伯耆町内で活動している団体や個人の交流を図り、伯耆町を元気にしていきたい」と話しておられました。



事例発表会の様子



溝口中学校3年生の発表

春の訪れを楽しむ

溝口春の彼岸市

毎年春の彼岸に合わせて開催される「溝口春の彼岸市」が、今年も3月21日に伯耆溝口駅周辺で開かれました。

彼岸市の歴史は長く、第1回目はなんと大正14年(1925年)。日野郡内の農家が、冬の農閑期に副業としてワラや竹で作った農具を売買したり物々交換するイベントとして開いたのが始まりで、各農家の作品がずらりと並ぶ作品展もかねた楽しい市だったようです(写真①)。

現在は当時と大きく様子は変わりましたが、子どもからお年寄りまでたくさんの方が、屋台の焼きそばやたい焼きをほお張り、ステージの演奏と踊りに大きな拍手を送り、春の訪れを全身で楽しんでいるようでした(写真②)。(参考：溝口町「ふるさと」の記憶 溝口町50周年記念誌『2004年、P.12』)



写真① 昭和41年3月の彼岸市(引用:前掲、P.124)



写真② 平成27年3月21日の彼岸市